

各 位

上場会社名	株式会社 大林組
代表者	取締役社長 白石 達
(コード番号	1802)
問合せ先責任者	経理部長 宮澤 英敏
(TEL	03-5769-1701)

業績予想及び配当予想の修正並びに中期経営計画の策定に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 2 月 10 日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

また、本年度より新たにスタートする中期経営計画を策定しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,700,000	35,000	39,000	23,000	32.03
今回修正予想 (B)	1,770,000	48,000	60,000	28,000	38.99
増減額 (B-A)	70,000	13,000	21,000	5,000	
増減率 (%)	4.1	37.1	53.8	21.7	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	1,612,756	31,991	40,135	21,627	30.11

平成 27 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,210,000	10,000	16,000	10,500	14.62
今回修正予想 (B)	1,259,000	18,900	31,100	12,900	17.96
増減額 (B-A)	49,000	8,900	15,100	2,400	
増減率 (%)	4.0	89.0	94.4	22.9	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	1,208,677	2,789	11,331	7,651	10.65

業績予想の修正理由

1 個別業績予想

(1) 営業利益

完成工事高の増加に伴う完成工事総利益の増加や、大型不動産の売却に伴う不動産事業総利益の増加などから、前回予想より 89 億円増加する見込みです。

また、完成工事利益率は 5.4%（建築 4.4%・土木 9.1%）となる見込みです。（前回発表時の見通しは 5.4%（建築 4.5%・土木 8.5%））

(2) 経常利益及び当期純利益

営業利益の増加に加え、円安進行により為替差益が約 46 億円発生したことなどから、経常利益は前回予想より 151 億円増加する見込みです。一方、当期純利益は法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴い、繰延税金資産を約 53 億円取り崩したことから、前回予想より 24 億円の増加にとどまる見込みです。

2 連結業績予想

個別業績予想の修正に加え、建設事業及び不動産事業ともに子会社の営業利益が増加したことに伴い、連結業績予想を修正するものです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 27 年 2 月 10 日発表)				4.00	8.00
今回修正予想				6.00	10.00
当期実績	—	4.00	—		
前期実績 (平成 26 年 3 月期)	—	4.00	—	4.00	8.00

配当予想の修正理由

当社は、長期にわたり安定した配当を維持することを第一に、内部留保の充実を勘案のうえ、業績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。この基本方針のもと、今回の平成 27 年 3 月期の業績予想の修正を踏まえ、年間配当金を 8 円から 10 円（連結配当性向 25.6%）に増配することといたしました。これにより、期末配当予想を 4 円から 6 円に修正いたします。

なお、本件は本年 6 月に開催予定の第 111 回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

● 中期経営計画（2015年度～2017年度）の策定について

当社は、本日開催された取締役会において、本年度より新たにスタートする「大林組グループ中期経営計画 2015～社会の安全、安心、経営の更なる安定に向けて～ Evolution 2015」を決議いたしました。

主な経営指標目標（連結）

	2015年度	2016年度	2017年度
売上高	17,000億円程度		
建設事業	16,000億円程度 (海外比率：25%)		
開発事業	500～600億円		
新領域事業	220億円	220億円	280億円
その他	100億円程度		
営業利益	(安定的に) 450億円程度		
国内建設	60%	⇒ 55%	
国内建設以外 (海外建設、開発、新領域)	40%		45%
EBITDA ※	590億円	610億円	630億円
国内建設	55%	53%	51%
国内建設以外	45%	47%	49%
経常利益	500億円程度		

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費（Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization）

有利子負債	4,000億円程度（2018年3月末）
D/E レシオ	0.9倍程度
ROE	（中長期的に）8%程度
配当性向	20%～30%

なお、詳細については当社のウェブサイトに掲載いたします。

URL	http://www.obayashi.co.jp/ir/medium_term_plan
掲載日	平成27年4月14日

（その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項）

平成28年3月期連結業績予想及び個別業績予想につきましては、本年5月の決算発表時に公表いたします。

（ご参考）平成27年3月期 通期個別受注高の実績

（単位：億円）

	2月10日発表値	実績	比較増減	(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)
建 築(うち海外)	8,450 (50)	9,560 (71)	1,110 (21)	9,350 (851)
土 木(うち海外)	2,650 (150)	3,222 (100)	572 (△49)	2,744 (213)
建設事業計(うち海外)	11,100 (200)	12,782 (172)	1,682 (△27)	12,094 (1,064)

（注）上記の連結業績予想及び個別業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上